

飼育管理士免許を取得しペット共生物件経営

敷地内に200㎡のドッグラン設置



高塚文彦オーナー(45)
(埼玉県久喜市)

飼育管理の取得が認定された愛玩動物飼育

管理士の免許を取得してペット共生型物件を経営しているのは高塚文彦オーナー(埼玉県久喜市)だ。

父親が経営していたマンション棟を引き継ぎ、5年前から家主業に専念している。現在では、5棟32戸の賃貸経営を手がけ、満室稼働に至っている。



▲散歩後に利用できる洗い場

を使って遊んでいる。犬のしつけなどに困る入居者に対しては、有資格者の高塚オーナーが全面的にサポートしている。各住戸の玄関脇には、ペットのフンが捨てられる蓋つきの専用ボックスを設置し、室内の衛生面を保護している。

2005年、高塚文彦オーナーは芝生が敷き詰められたドッグラン一面にドッグランを設置されたドッグラン。フェンスで囲まれた約200㎡のドッグラン一面には芝生が敷き詰められ、ドッグラン内でボールなどを遊ぶことができる。物件に付加価値を加えて満室稼働させている32戸に加え、9月にはカーシェアリングを導入した戸建て物件が竣工予定だ。



▶芝生が敷き詰められたドッグラン